

4th

アジア

慢性期医療学会

ASIAN CONGRESS OF MEDICAL AND CARE FACILITIES

慢性期医療の希望を求めて
Looking for the hope of post acute medicine

2015. 10. 15. 木 16. 金

昌原コンベンションセンター **CECO**

- 主催：アジア慢性期医療協会
- 主管：第4回アジア慢性期医療学会 組織委員会
韓国慢性期医療協会

- 後援： 日本慢性期医療協会  中国慢性期医療協会  MINISTRY OF HEALTH & WELFARE  慶尚南道 GYEONGNAM  昌原市 昌原市LA-487 大品原  KOREA TOURISM ORGANIZATION  KHA Korean Hospital Association  KMA 韓国医学会 KOREAN MEDICAL ASSOCIATION  大韓看護協會 Korean Nurses Association
- 後援マスコミ： KSMHA 大韓中小病院協会  慶尚南道医師会  韓国医療財団連合会  釜山慶南 代表放送 KNN  慶南新聞  KHA 病院新聞  Daily medi  MEDI-GATE



大会長 鄭 霽 濠

御案内

「慢性期医療の希望を求めて(Looking for the hope of post acute medicine)」というテーマで2015年10月15日より16日まで、昌原コンベンションセンター(CECO)で開催される第4回アジア慢性期医療学会に皆様をご招待致します。

現在、韓国のみならずアジアの各国が「良質の慢性期医療が成立しなくては、国の医療そのものが存立すること出来ない岐路」に立っています。全世界的に高齢化が急速に進み、高齢者の人口による様々な課題や医療技術、管理の必要性が浮上しています。高齢者が健康でなければ、個人と国家が不幸になるので、健康な老後のための各分野の最新の知識と見解を共有して、より専門的な内容と充実したプログラムを通じてアジア各国の高齢者医療の懸案と問題を正確に把握して希望的な代案を作って行きたいと考えています。

「第4回アジア慢性期医療学会」は2年ごとにアジアの国々が循環開催する学会で、2010年日本の京都、2011年韓国の釜山、2013年日本の東京に引き続き、今回の4回目として昌原のコンベンションセンターで開催されます。それに中国慢性期医療協会がアジア協会の加盟国になり、今回の学会に初めて参加することになりました。

慢性期医療の国際的な感覚と将来に私たちが追求するべきの高齢者医療の真の姿を躍如としてお伝える今回の「第4回アジア慢性期医療学会」を通じて、参加者の方々に現場中心で専門性の高いプログラムとアジア諸国の中の優れた見識を共有しながら高齢者医療の現況を正確に把握して、未来への発展となるきっかけになることを願います。

ありがとうございます。

第4回 アジア慢性期医療学会

大会長 鄭霽濠 (韓国医療財団連合会長 / 仁川翰林病院長)

アジア慢性期医療協会加盟国の代表



中村 哲也

アジア慢性期医療協会 理事長
(IMSグループ 理事長)



武久 洋三

日本慢性期医療協会会長
(博愛記念病院 理事長)



郭 躍

中国慢性期医療協会会長
(仁濟医療グループ 総裁)



学会長 金徳鎭

韓国慢性期医療協会会長
(喜緑病院 理事長)

第4回 アジア慢性期医療学会プログラム

10/15(木)	10/16(金)
コンベンションホール II+III	コンベンションホール II
<p>10:00~14:00</p> <p style="text-align: center;">ブース展示 (コンベンションホールロビー)</p>	<p>認知症セッション 座長: ハン・イルウ(江南区立幸福療養病院長/元大韓認知症学会長)</p> <p>09:30~11:30 ※20分発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 軽度認知障害の予防のための非薬物的治療 バク・ヒョンテ(東亜大学生命科学部 教授) ・ アルツハイマー型認知症治療および予防の最新動向 バク・ギョンウォン(東亜大学病院神経科 教授/釜山広域認知症センター長) ・ 認知症患者タクティールケアの運用事例 木本 明恵(日本スウェーデン福祉研究所 看護師) ・ 認知症の行動・心理状態～聞こえますか、患者さんの声～ 中尾 郁子(光風園病院 看護総括部長) ・ 認知症患者への臨床美術の導入 佐藤 和美(小平中央リハビリテーション病院 介護福祉士) ・ 認知症の最新知見および韓国の認知症管理政策 イ・ウンア(ヘプンリ病院長/神経科 専門医) <p>11:30~12:00 質疑応答</p>
<p>14:00~15:00</p> <p style="text-align: center;">開会式</p> <p style="text-align: center;">アジア慢性期医療学会 I 「高齢化時代のアジア慢性期医療の再構成」 座長: キム・フィサン(元大韓リハビリテーション医学科理事 /慶熙大病院リハビリテーション医学科教授)</p> <p>15:00~16:00 ※20分発表</p> <p>(韓) 高齢化韓国よってのリハビリテーションサービスの再定立 チョン・ヒョンソン(延世大学保健行政学科 教授)</p> <p>(日) 日本の高齢者医療 介護制度 安藤 高朗(エイセイ病院理事長)</p> <p>(中) 中国慢性期予防についての情勢、策略及び活動 李剣虹(中国疾病予防控制中心教授)</p> <p>14:30~14:50 自由討論</p>	<p style="text-align: center; background-color: #FFC107; color: white;">昼食</p> <p>褥瘡セッション 座長: 林重光(新戸塚病院長/内科 専門医)</p> <p>13:30~15:10 ※20分発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 老人患者の根拠基盤褥瘡看護仲裁の適用 キム・ギスク(昌原大学看護学科 教授) ・ 車いすシーティングによる褥瘡対応 岩谷 清一(日本シーティング・コンサルタント協会 理事/永生病院 作業療法士) ・ 褥瘡治療における看護師の役割 木下 祐介(光風園病院 副院長/皮膚科 専門医) ・ ラップ療法は、画期的な褥瘡ケアである 鳥谷部 俊一(大崎市民病院 診療部長) ・ 韓国でのOPWP治療法導入の症例報告 オ・チュヨン(喜縁病院 褥瘡研究会長/看護次長) <p>15:10~15:30 質疑応答</p>
<p style="text-align: center; background-color: #4CAF50; color: white;">ブレイクタイム</p> <p style="text-align: center;">アジア慢性期医療学会 II 「アジア慢性期医療の希望、高齢者看護から始まる」 座長: ヨム・アンソプ(水洞延世療養病院長)</p> <p>16:40~17:40 ※20分発表</p> <p>(日) 高齢者医療における看護の役割と専門性 北神 洋子(IMSグループ本部事務局 総看護部長)</p> <p>(中) 慢性期病予防における弱いレーザー治療の応用 吳小光(中国王安し ザ技術研究院長)</p> <p>(韓) ホスピス～老人看護の美しい仕上げ～ グァク・ヘリョン(大韓看護協会老人看護師会理事/ボバス病院看護部長)</p> <p>17:40~18:00 自由討論</p>	<p style="text-align: center; background-color: #FFC107; color: white;">ブレイクタイム</p> <p>身体抑制廃止セッション 座長: 渋谷正直(IMS板橋リハビリテーション病院長/リハビリ医学科 専門医)</p> <p>16:00~17:40 ※20分発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 老人療養病院と身体抑制台 ハ・ソンミ(江東大学校看護科教授) ・ 私たちは、彼の人生を縛らなかった - 身体拘束廃止 国内1号 イ・ミラ(喜縁病院 看護チーム長) ・ 安全と安心を守るシステムの構築 福本 京子(有吉病院 ケア部長) ・ 身体拘束廃止～愛こそはすべて～ 田中 志子(内田病院 理事長) ・ 身体拘束率ゼロを実現した日本の病院～富家病院の取組み～ 富家 隆樹(富家病院 理事長) <p>17:40~18:00 質疑応答</p>
歓迎夕食会 (コンベンションホール I)	



10/16(金)

コンベンションホール III

コンベンションホール 301+2

リハビリテーションセッション

座長:チョ・グンヨル(海雲台白病院 リハビリテーション医学科 教授)

09:30~11:50 ※20分発表

- ・ Robot assisted walking therapy in stroke rehabilitation
キム・ミンジョン(ナムンと幸福の病院診療部長/リハビリテーション医学科院長)
- ・ チームアプローチにてQOLの向上を
藤崎 亮介(シルバーケア吉野ヶ里 副施設長)
- ・ 韓国の呼吸リハビリテーションの現況
シン・ミョンジュン(釜山大学 リハビリ科 教授)
- ・ 心脳血管疾患予防のための老人の運動
イ・スクジョン(東亜大学脳神経リハビリ科 教授)
- ・ 佐賀記念病院での回復期リハビリテーションの現状
吉原 幸治郎(佐賀記念病院長/内科医学科 専門医)
- ・ 日本の365日リハビリテーション治療の導入
石川 麻子(新座病院 作業療法士)
- ・ 地域リハビリテーションネットワーク
矢野 浩二(小倉リハビリテーション病院 リハビリ副部長/作業療法士)

11:50~12:10 質疑応答

緩和医療セッション

座長:キム・グンハ(国際サナトロジスト韓国人1号/内科 専門医)

09:30~11:10 ※20分発表

- ・ ホスピスのための統合医学の役割
チョン・セイル(韓国サナトロジー協会長/リハビリテーション医学科 専門医)
- ・ 開院街における癌治療
キム・シンモク(堤岩療養病院長/神経外科 専門医)
- ・ 療養病院とホスピスの緩和医療
ハ・テグク(ポグンハンマン療養病院長/家庭医学科 専門医)
- ・ 患者様に寄り添うリハビリ~末期癌患者との関わり~
中金 大輔(富家病院 理学療法士)
- ・ 日本緩和医療の現在
小澤 美佳(青森慈恵会病院 看護師)

11:30~12:00 質疑応答

昼食

地域包括ケアセッション

座長:パク・ジンサン(全州孝サラン療養病院 理事長)

13:30~14:50 ※20分発表

- ・ ポグンハン療養病院の医療・福祉複合体の運用事例
パク・ソンフィ(E-ポグンハン療養病院 看護センター長)
- ・ 韓国形地域包括ケアシステムの症例報告
ハ・ヨンラン(喜園病院 地域連携次長/看護師)
- ・ 日本のベビーブーム世代のための地域包括ケア
植田 宜彦(聖光会グループ本部 統括部長)
- ・ 地域包括ケア活性化のためのケアマネージャーの役割
進藤 晃(大久野病院 理事長)

14:50~15:10 質疑応答

療養病院の経営セッション

座長:キム・ゼテク(和順現代療養病院 理事長)

13:30~16:00 ※30分発表

- ・ 療養病院の報酬体系きちんと知ること
ジ・チョンスク(ベスト療養病院 院務課長)
- ・ 療養病院の顧客関係管理(CRM)
キム・チョンヨン(全州孝サラン療養病院長)
- ・ 判例を中心にした関連法の理解
アン・チャンウク(メディゲートニュース 編集局長)
- ・ 療養病院認証(在)評価の運営基準
チョン・ヘギョン(医療機関評価認証院 認証事業チーム長)
- ・ 療養病院の現場調査事例
イ・ギョンザ(審査評価院 給料調査室調査企画部 次長)

ブレイクタイム

栄養セッション

座長:カン・ウンヒ(ソウル峨山病院 健康増進センター 臨床栄養士)

16:00~17:20 ※20分発表

- ・ 慢性期疾患の栄養管理の重要性
イ・ジウン(龍仁孝子病院 栄養室長)
- ・ 療養病院での入院患者の栄養評価実際
イ・ハギョン(センタムイルタ療養病院 栄養課長)
- ・ 褥瘡の栄養管理-事例介入をきっかけに療養病棟のNST稼働に至った報告~
佐々木 美穂(横浜旭中央総合病院 栄養係長)
- ・ 寝たきりにさせないための栄養管理
野本 達哉(永生病院 TQMセンター長/医療技術部長)

17:20~17:40 質疑応答

16:00~16:30 質疑応答

登録方法

1. 個人登録(オンライン): www.amcf2015.org
2. 団体登録: ホームページの様式ダウンロードした後、申請書記入してEメール、FAXで登録
 E-mail : amcf2015@silver4u.net / FAX: +82-55-237-7733
3. 登録費の支払い ※登録後、振り込み
 - 銀行名: ハナ銀行 (HanaBank)
 - 口座: 531-910001-34238/韓国慢性期医療協会
 - 支店名: Changwon Corporate Banking Center
 - 支店住所: 3, Jungang-daero 84beon-gil, Seongsan-gu, Changwon-si
 - SWIFT CODE: HNBKRSSE
4. 登録費: \$100 ※払い戻しはホームページをご参考してください。
5. 登録費に含まれた内訳
 - 学芸プログラム参加
 - 展示場の観覧
 - プログラム本
 - Coffee Break、GNCVB COUPON BOOK (CECO RESTAURANT&CAFE)

後援申し込みの御案内 ※大韓医師協会から国内開催国際学術大会として認定

レベル別の提供内訳	レベル及び金額					
	Platinum	Gold	Silver	Bronze	展示ブース	プログラム本ページ広報
	¥3,000,000	¥2,000,000	¥1,000,000	¥500,000	¥300,000	¥200,000
プログラム本の協賛者表記	○					
歓迎夕食会の際、主催後援に併記	○					
受付デスクに併記	○	○				
ウェブサイトの後援ページに会社紹介	○	○	○			
ウェブサイトのメインページにバナーリンク	○	○	○			
ウェブサイトのサブページにバナーリンク	○	○	○			
ウェブメールにバナーリンク	○	○	○			
会場の壁面にバナー掲載	○	○	○	○		
歓迎夕食会の招待人数	2名	1名	1名			
学会無料登録人数	5名	4名	3名	2名	1名	
展示ブース(会場のロビー)	2ブース	2ブース	1ブース	1ブース	1ブース	
プログラム本ページ広報	2P	1P	1P	1P	1P	1P

1. 締め切り
 - 後援申請及び後援期限: 2015年 9月 25日
 - 申し込みが遅くなって制作時期が過ぎた場合は、後援の特典の一部が提供できない虞があります。
2. 申請方法
 - 後援申請書をホームページでダウンロード、作成の後、事務局にFAXもしくはE-mailで送付をお願い致します。
 FAX: +82-55-237-7733 / E-mail: amcf2015@silver4u.net / www.amcf2015.org
 - 後援金 ※登録後、振り込み
 - 銀行名: ハナ銀行 (HanaBank)
 - 口座: 531-910001-34238/韓国慢性期医療協会
 - 支店名: Changwon Corporate Banking Center
 - 支店住所: 3, Jungang-daero 84beon-gil, Seongsan-gu, Changwon-si
 - SWIFT CODE: HNBKRSSE
3. 参加申請の際提出書類
 - 後援参加申請書(規定様式) 1部
 - 事業者登録証のコピー 1部(計算書発行用)



第4回 アジア慢性期医療学会 組織委員会

15, Mapo-daero, Mapo-gu, Seoul, Korea / **E-mail** : amcf2015@silver4u.net **Tel** : +82-55-270-2540 **Fax** : +82-55-237-7733